

株式会社日本格付研究所（JCR）は、以下のとおり信用格付の結果を公表します。

## 高周波熱錬株式会社（証券コード:5976）

### 【新規】

長期発行体格付 **A-**  
格付の見通し **安定的**

### ■格付事由

- 誘導加熱を中核技術として、高強度ばね鋼線やPC鋼棒の製造、熱処理の受託加工などを手掛ける。高シェア製品を多く有しており、ニッチな分野で競争力を持つ。自動車関連業界や建機メーカーなどと長期にわたって取引を行っているほか、仕入先である大手高炉メーカーと安定的な関係を構築している。
- 創業期を除いて経常黒字を確保しており、業績は底堅く推移している。顧客基盤が強固で、主要製品における競争力が高い。継続的な新製品の開発・拡販も利益に貢献している。20/3期から21/3期にかけて需要の減退により業績が悪化したものの、22/3期以降は回復しており、引き続き一定の利益を確保可能と考えられる。また、実質無借金となっているなど、財務内容は健全である。今後は戦略投資にかかる資金負担の増加が見込まれるほか、株主還元拡大によって自己資本の増加が抑制されるとみられる。これに伴って財務構成がやや悪化すると想定されるが、良好な水準は維持される見通しである。以上を踏まえ、格付をA-とし、見通しを安定的とした。
- リーマンショック後はおおむね安定した利益を確保してきたが、利益率は緩やかに低下する方向にある。また、長期的に内需の減退やユーザーの現地調達化の進展に伴って利益水準が低下するリスクがある。国内事業の強化や海外事業の拡大などにかかる投資を積極化させ、収益力を維持・向上できるかが注目点となる。財務面では、投資回収の遅れなどによって悪化することが無いか確認していく。
- 23/3期経常利益は42億円と22/3期並みの水準が計画されている。原材料などのコストアップは製品の値上げや円安影響でおおむねカバーされるとみられる。24/3期以降も現状程度の利益が維持される見通しである。当面の販売数量は底堅いと考えられるほか、原材料価格の上昇については販売価格への反映が進む見込みである。一方、電力価格はもう一段の上昇が想定されるほか、IH事業部関連事業では加工賃への反映が難航する懸念があり、当面の業績の下押し要因となる可能性がある。
- 23/3期第2四半期末の自己資本比率は73.8%であり、強固な財務基盤が信用力の下支えとなっている。今後は自己資本の増加を抑える方針であるほか、積極的な投資を背景に有利子負債の増加が見込まれ、財務内容がやや悪化するとみられる。ただ、31/3期の目標として自己資本比率60~65%程度、DER0.2倍程度が掲げられており、引き続き良好な財務内容が保たれる見通しである。

（担当）水川 雅義・近藤 昭啓

### ■格付対象

発行体：高周波熱錬株式会社

### 【新規】

対象	格付	見通し
長期発行体格付	A-	安定的

## 格付提供方針等に基づくその他開示事項

1. 信用格付を付与した年月日：2023年1月10日
2. 信用格付の付与について代表して責任を有する者：殿村 成信  
主任格付アナリスト：水川 雅義
3. 評価の前提・等級基準：  
評価の前提および等級基準は、JCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に「信用格付の種類と記号の定義」(2014年1月6日)として掲載している。
4. 信用格付の付与にかかる方法の概要：  
本件信用格付の付与にかかる方法の概要は、JCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に、「コーポレート等の信用格付方法」(2014年11月7日)として掲載している。
5. 格付関係者：  
(発行体・債務者等) 高周波熱錬株式会社
6. 本件信用格付の前提・意義・限界：  
本件信用格付は、格付対象となる債務について約定通り履行される確実性の程度を等級をもって示すものである。  
本件信用格付は、債務履行の確実性の程度に関してのJCRの現時点での総合的な意見の表明であり、当該確実性の程度を完全に表示しているものではない。また、本件信用格付は、デフォルト率や損失の程度を予想するものではない。本件信用格付の評価の対象には、価格変動リスクや市場流動性リスクなど、債務履行の確実性の程度以外の事項は含まれない。  
本件信用格付は、格付対象の発行体の業績、規制などを含む業界環境などの変化に伴い見直され、変動する。また、本件信用格付の付与にあたり利用した情報は、JCRが格付対象の発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものであるが、当該情報には、人為的、機械的またはその他の理由により誤りが存在する可能性がある。
7. 本件信用格付に利用した主要な情報の概要および提供者：  
・ 格付関係者が提供した監査済財務諸表  
・ 格付関係者が提供した業績、経営方針などに関する資料および説明
8. 利用した主要な情報の品質を確保するために講じられた措置の概要：  
JCRは、信用格付の審査の基礎をなす情報の品質確保についての方針を定めている。本件信用格付においては、独立監査人による監査、発行体もしくは中立的な機関による対外公表、または担当格付アナリストによる検証など、当該方針が求める要件を満たした情報を、審査の基礎をなす情報として利用した。
9. 格付関係者による関与：  
本件信用格付の付与に係る手続には格付関係者が関与した。
10. JCRに対して直近1年以内に講じられた監督上の措置：なし

### ■留意事項

本文書に記載された情報は、JCRが、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCRは、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果、的確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCRは、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCRは、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかんを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCRの格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCRの格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいております。JCRの格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCRが保有しています。JCRの格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCRに無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

### ■NRSRO登録状況

JCRは、米国証券取引委員会の定めるNRSRO (Nationally Recognized Statistical Rating Organization) の5つの信用格付クラスのうち、以下の4クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。米国証券取引委員会規則17g-7(a)項に基づく開示の対象となる場合、当該開示はJCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/en/>) に掲載されるニュースリリースに添付しています。

### ■本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL: 03-3544-7013 FAX: 03-3544-7026

## 株式会社 日本格付研究所

Japan Credit Rating Agency, Ltd.  
信用格付業者 金融庁長官(格付)第1号

〒104-0061 東京都中央区銀座5-15-8 時事通信ビル